

事業区分	文化芸術事業		育成創造事業	
事業名	鳥取県出身のアーティストによるコンサート こどもの楽園Ⅴ		助成	文化庁
目的・内容	鳥取県在住・出身のアーティストによって、鳥取県発のコンサートを開催する。そして、鳥取県出身のアーティストの存在を知らしめ、県民の皆様にも音楽文化の素晴らしさを啓発し、音楽文化を豊かにするとともに、アーティストたちと共に音楽の喜び（演奏と鑑賞）を作り上げ、感動を共有するものとする。またクラシックを子どもたちがより身近なものと感じ、その素晴らしさ、楽しさを感じることでできる機会を提供し、親子が共に文化芸術に触れ合うことを目的とする。 【使 命】多彩な人材育成とキャリア開発 【事業の柱】鳥取県総合文化祭の連携			
開催日時	平成20年11月3日(月・祝)			
会 場	米子コンベンションセンター 多目的ホール			
入場料・参加費 (友の会・団体)	一般2,500円 (2,000円)	中・高校生1,000円	こども(3歳以上)500円	
集客状況	入場者数 1,508名	設定席数 2,004席	集客率 75.2%	
事業費状況	予算額	収入 1,950,000円	支出 10,313,000円	収支比率 18.9%
	決算額	収入 4,746,000円	支出 9,600,895円	収支比率 49%
来場者アンケート (主なもの)	<p>・沢山の曲が聴くことができ良かったです。昨年のベートーヴェンも聴きました。今年もテンポ良く進んで楽しく聴きました。トルコ行進曲の聴き比べ、アキラさんの合唱曲良かったです。第九のことは知らない事だったので解かって嬉しかったです。</p> <p>・どこに行くにも子供づれなので、クラシックのコンサートにはなかなかいけなかったのですが、今日は子供も楽しめる内容のようだったので来てみました。久しぶりに素晴らしい演奏が聴けて、清々しい気分になりました。家でもCDで聴くばかりだったので、生の演奏を子供にも聞かせることが出来て良かったです。</p> <p>・本当に楽しかった!! 鳥取県出身の方々が集まるコンサートってなかなかないので!! もっと聴きたいなあ~と思いました</p> <p>・米子西高のミニコンサート(音の動物園)楽しく聴かせていただきました。みなさん笑顔で心から音楽を楽しんでおられるようで、いいなあと思いました。アキラさん、声優の方のパフォーマンスは素晴らしいです。サイコー! 一昨年と去年の内容のミックスかなと思いきや合唱がついてふくらみましたね。第九はすごい迫力でした。</p>			
1次評価 (内部)	<p>[成果]</p> <p>年々開催するごとに入場者が増え、昨年度の入場者数を上回り、顧客満足度は、80パーセント以上であった。小さな子どもを持つ親の方から大変好評で、一定の成果を上げることができた。親子で鑑賞できる本物の芸術鑑賞・体験のニーズに応えることができた。</p> <p>・早い時期から広報に取り組み広くPRができた。</p> <p>[課題]</p> <p>・3年間継続したこの事業の成果を次年度以降にも引き継ぐことが必要。</p>			
2次評価 (財団評議員)	<p>[成果]</p> <p>・なかなか出演機会のない鳥取県出身者の演奏者の演奏機会として有効である。また、普通のコンサートにはなかなか行きづらい子供たちが本物の音楽に触れる機会として重要である。</p> <p>・「地元出身者」は吸引力になるし、宮川彬良というネームバリューのある人でさらに観客をひきつけることができた。</p> <p>・音の動物園では高校生が積極的に動いており好感が持てた。</p> <p>[課題]</p> <p>・担当者の苦労は相当のものと思われる。それぞれの目標を達成する手法はこれだけではないと思う。無理のない方法を検討してほしい。</p> <p>・この事業の成功したポイントをもう少し抽出し、それを元に、新たな事業展開をきちんと構築すべき。「着眼点」や「ニーズ」という面が重要。</p> <p>・崇高な音楽の後に「マツケンサンバ」はいただけない。</p> <p>・今後は地元アーティストが責任を持って主体的に出演できる場面が必要</p>			
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代の鑑賞者・実践者を育てるためにも親子向けの継続事業を検討。 ・県出身アーティストが主体となって広く活躍できる場の提供。 ・事業推進において負担が大きいため、チーム制を確立し、事業進捗していくべき。 			